



リニューアルした総社駅の駅名標を眺める(左から) 榎尾社長、塩出局長、嘉数学部長

## 来年25周年 沿線PR

# 井原鉄道15駅名標更新

総社市と福山市神辺町を結ぶ井原線を運行する井原鉄道(井原市東江原町)は、2024年1月の開業25周年を前に全15駅の駅名標を更新し、総社駅(総

### 総社駅除幕式

総社市駅前)のホームで27日、除幕式を行った。各駅ともゆかりの人物や風物を取り入れた鮮やかなイラストをそろえ、利用促進と沿線の観光振興を図る。

岡山県立大生 デザイン 人物、風物鮮やか



井原鉄道の駅名標は、1999年の開業に合わせた総社南高生が考案したイラストを採用。各駅の地域を象徴する構図を取り入れた。当時のコンセプトを踏まえた上で、同社と岡山県備中県民局が節目を機にリニューアルを企画。県立大デザイン学部の3年生4人が中心となって仕上げた。

駅名標(縦1.5m、横1.8m)のイラスト部分は1.5m四方。太陽の

色豊かなデザインで、学生たちが元気が出るような色彩を心がけたという。

式典で榎尾俊之社長光を浴びる古代山城の鬼ノ城(総社駅)、奈城の宝をPRしていきたい」とあいさつ。塩吉備真備と遣唐使船出則夫県民局長、県立(吉備真備駅)、平櫛田中の代表作「鏡獅子」(井原駅)、二上り踊り(神辺駅)など郷土(寺尾彰啓)